

# 16年6月春の市民登山会

(オロフレ山系オロフレ峠から来馬岳縦走)

平成28年6月5日(日)

CL:藤木(晴)、A班L:澤田、B班L:山岸、C班L:西田、医療:古屋 総数 20名

## 特徴

- ・ 頂上往復でなく、縦走形式を採用したことで、異なった趣向であった(初めてではありませんが)。
- ・ 運転手にはご苦勞をかけたが、自家用車で送迎した。
- ・ 前日の豪雨にも関わらず、登山道は、快適であった。
- ・ 登山道に笹が一部かぶさっていたが、大きな問題はなかった。
- ・ 登山道下坂において、笹が散乱してなく(端に集積されており)、安全に歩行できた。
- ・ シラネアオイの群落があった。他にチシマザクラ、ツバメオモト、サンカイヨ等咲き誇っていました。

## 概略工程と掛け合い

7:00 ◎ 登別岡志別公園P場集合 5台の車両でオロフレ峠登山口へ。  
軽く身体をほぐし、いざ来馬岳へ

S氏: やっぱり上り坂はキツイね。何とかならないものかね。

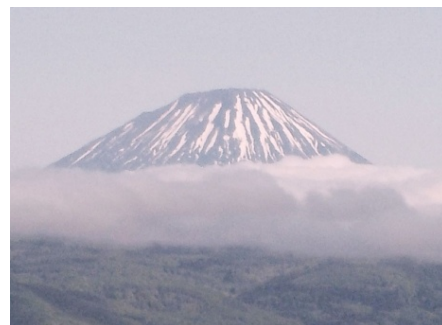
H氏: ミネサクラ華麗に散っているね。乙女の心ようだわ。

S氏: ……………(乙女の話題に対応せず)

H氏: 登山道、ジャングルジムみたいだね。

S氏: エッ、ジャングルジム! 屈んで通過(枝等)するところは、腰に負担が生じるわ。

F氏: ある登山グループからネットに『登別山岳会の登山道整備に感謝』している書き込みがあったよ。



9:30 ◎ カルルス山到着。

☆ ウーム、登山届への記入方法が難しい……

9:40 ◎ 見晴岩に到着。しかし、来馬岳の展望効かず

K氏: この辺笹が多いね。たまにこんな道もないとね。ただの歩きではつまらないものね。

◎ 来馬岳山頂近くからシラネアオイの大群落発見

11:10 ◎ 来馬岳山頂到着。大休止して昼食。

K氏: 以前、山頂付近は花畑だったが、現在はこのように笹に覆われてしまった。

S氏: 私の生き方にも、笹の如く、侵略する活力を取り入れたいものだ。

・ 下り坂は、またまた、大大群落発見

12:20 ◎ リフト降り場到着。鬼門の下り坂への挑戦の前に、心の準備

◎ さて、下りへ。ウサギか鹿かわからないが、ウンコだらけ。

期待に外れ、ウド不漁

K氏: スキーの滑降は問題ないが、徒歩での下りはキツイ、キツイ

◎ スキー場到着。苦勞を厭わぬ運転手は、車の回収にオロフレ峠へ



迫力が伝わりませんが、ご容赦を